

調査不能の理由を見てみると、「拒否のため調査票を預けることができなかった」が42.5%で最も多く、次に多かったのが「調査票の回収を拒否」の17.1%であった。これら二つの理由はいずれも調査協力への拒否に由来する理由であり、これら二つをあわせると59.6%になり、調査不能の全体の半分以上に達している。また、「不在のために調査票を預けられなかった」ために調査不能であったのが15.6%もあり、かなり大きな割合を占めている。これに「転居」「長期不在」「住所不明」を加えると34.3%になり、調査対象者に会えないために調査が不可能であったケースは全体の約三割となっている（表6）。

表6：調査不能理由	(%)
転居	7.0
長期不在	7.0
不在のため調査票を預けられなかった	15.6
調査票を預けたが、回収時に会えなかった	3.1
住所不明	4.7
拒否のため調査票を預けることが出来なかった	42.5
調査票を預けたが、回収時に拒否	17.1
その他	3.0

2. 「結婚と家族に関する国際比較調査」の結果概要

本調査は、少子化、高齢化が進む日本社会における結婚や家族のあり方の実態を把握することを主な目的としている。調査票では、結婚や子供についての考え方、家庭生活や日常生活の状態などについて尋ねている。この調査は、国連ヨーロッパ経済委員会（UNECE）の国際比較研究の一環として行われたものであり、日本のほかにも、ヨーロッパ諸国を中心に世界の数カ国で類似の調査を実施している。

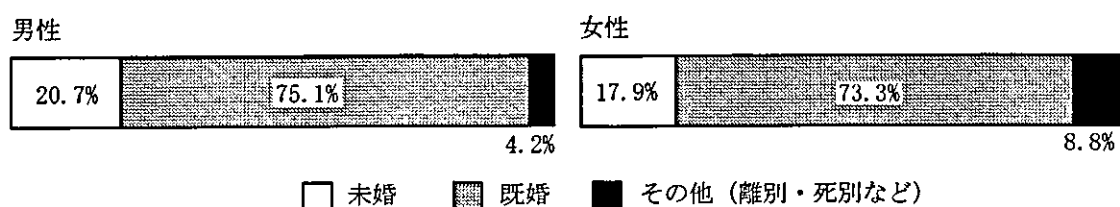
この結果概要では、本調査の主要なテーマである結婚や出生に関わる結果について述べる。1. 「結婚・パートナー関係」では、同棲経験や未婚者の結婚への意志について就業状態との関係でふれる。2. 「子どもについて」では、結婚と第一子出産との関係、出生意欲と就業状態との関係について言及する。

1. 「結婚・パートナー関係」

この調査では、結婚や夫婦関係について尋ねている。

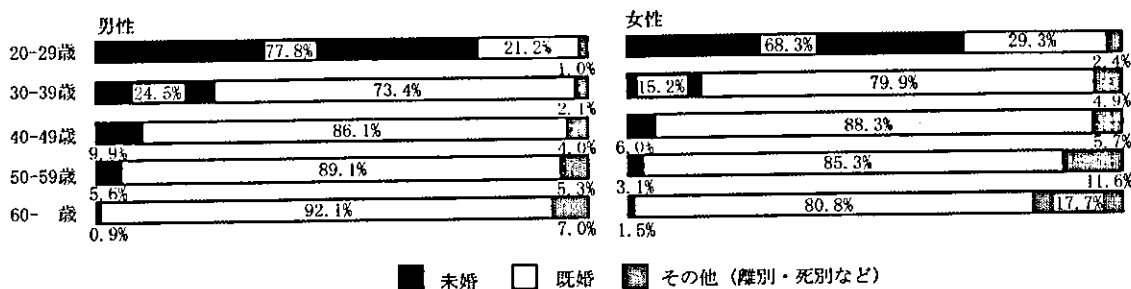
まず、回答者の配偶状態をみると、結婚している人の比率は男性で75.1%、女性で73.3%になっている。一方、未婚の人の割合は男性が20.7%、女性が17.9%で、僅かながら男性の方が高くなっている。また、配偶者と離別・死別した人は男性が4.2%、女性が8.8%である（図1）。

図1 : 回答者の配偶状態



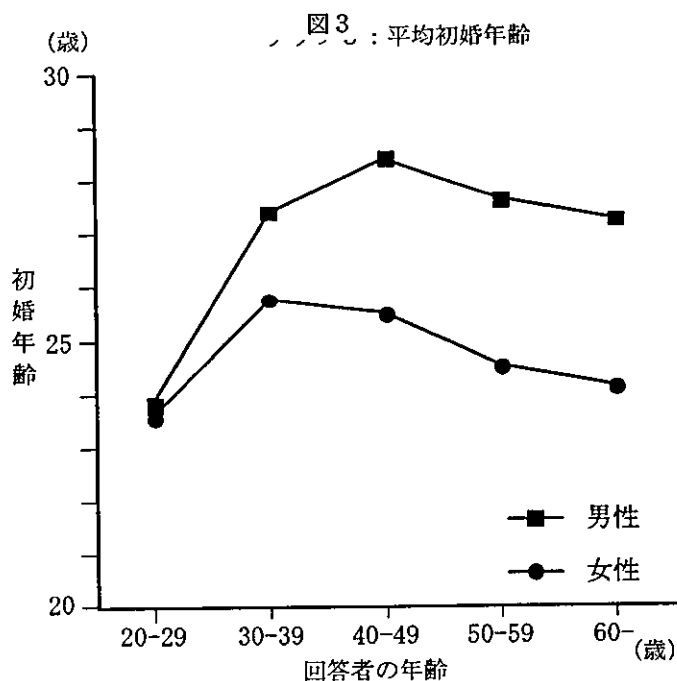
年齢ごとの配偶関係をみると、男女ともに20歳代～30歳代での未婚者の比率が高く、20歳代では結婚している人は2～3割、結婚していない人が7～8割になっている（図2）。

図2：年齢別の配偶状態



結婚している人の割合は、年齢の上昇に伴って次第に増え、50歳代になると結婚していない人は5%前後になり、結婚している人が90%近くにまで達する。他方、配偶者と離別や死別する人の割合は40歳代から徐々に増加し、60歳代では男性の7%、女性の18%に達する。

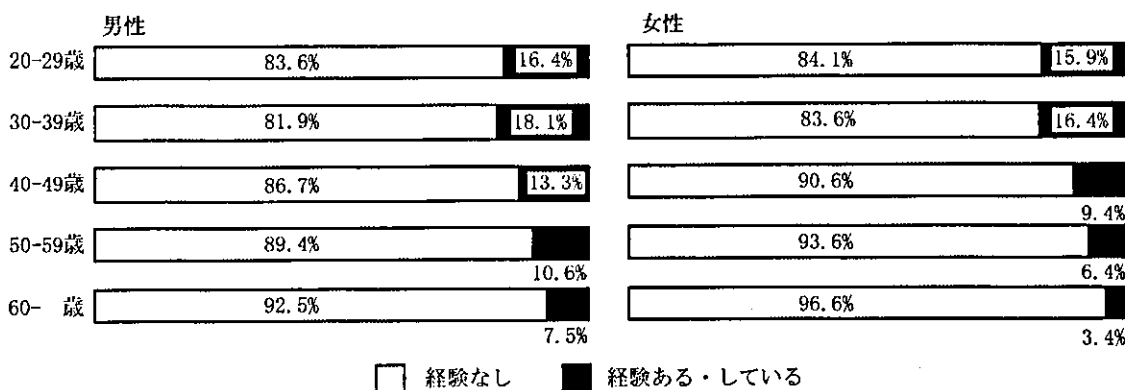
20歳以上の既婚者の平均初婚年齢は、男性が27.5歳、女性が24.9歳であり、男性の方が2.5歳ほど高くなっている。年齢グループごとにみると30歳～40歳代の結婚年齢が50歳～60歳と比べて高くなる傾向があり、若い年齢層で晩婚化の傾向がみられる(図3)。



配偶関係や婚姻年齢に加えて、パートナー関係についても変化がみられる。図4は20歳以上の回答者の同棲経験について観察したもので、男女ともに10%前後の人が同棲を

「経験したことがある」、あるいは、「現在、経験している」と回答している。

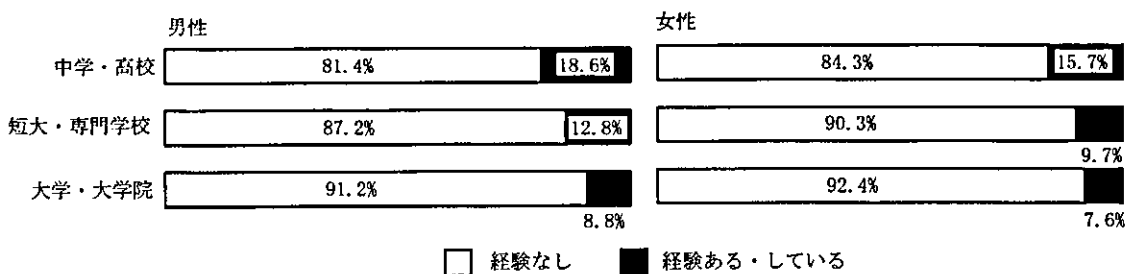
図4：同棲経験率



特に、20歳～30歳代で同棲を「経験したことがある」、あるいは、「現在、している」人の割合が高く、逆に50歳～60歳代では割合が低く、若い年齢層で同棲を経験する人が次第に多くなる傾向がみられた。

同棲経験者の学歴をみると、男女共に学歴の低い人ほど同棲をする割合が多くなっている。25歳から39歳までの人をみると、同棲を「経験したことがある」、あるいは、「現在、経験している」と回答した人は中学・高校卒の男性では18.6%、女性では15.9%に達しているが、大学卒業以上の男性では8.8%、女性では7.6%に留まっている（図5）。

図5：同棲経験者の学歴構成（25-39歳の回答者）

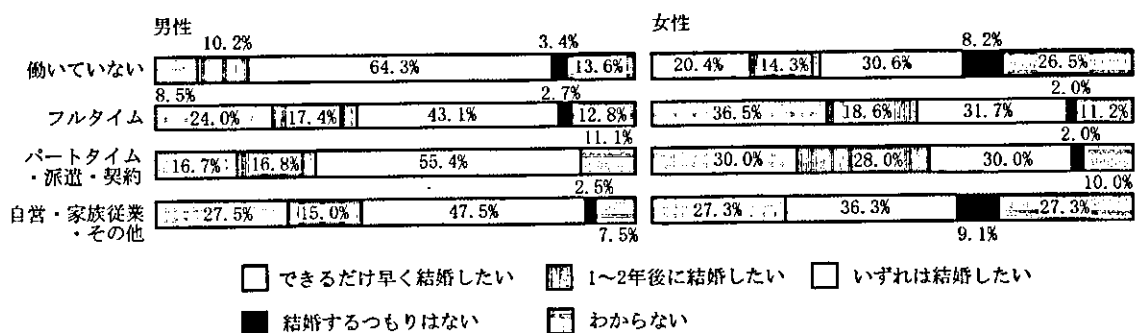


そして、同棲を経験した人の8割前後がその同棲相手と結婚しており、結婚せずに同棲関係を解消してしまう人の割合はわずかになっている。いわば、同棲は「結婚の予行演習」あるいは、「結婚へのプレリユード」と言える。

未婚者の結婚への意志をみると、働いている人の方がはっきりとした意識をもっている

(図6)。フルタイムであれ、パートタイムであれ、就業している人の4~5割ぐらいが、「できるだけ早く結婚したい」あるいは「1~2年後に結婚したい」と回答しているが、就業していない人で同じ回答をした人は2~3割にとどまっている。

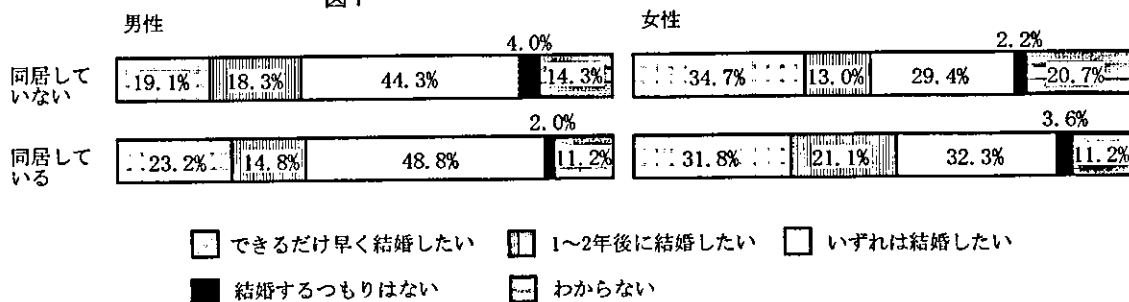
図6 : 就業状態と結婚への意志 (25-39歳の未婚者)



しかし、「結婚するつもりはない」と答えた人は、どの就業カテゴリーでも僅かであり、そのものを否定する傾向はかなり弱くなっている。非就業の人は「わからない」あるいは「いずれは結婚したい」と回答する人が多く、むしろ、結婚することについて明確なイメージを抱いていない。

親と同居している人と同居していない人の間で、結婚への意志に関してほとんど違いは見られない(図7)。親と一緒に暮らしていても、暮らしていなくても、未婚男性の4割前後、女性の5割前後の人が「できるだけ早く結婚したい」あるいは「1~2年後に結婚したい」と回答している。しかし、同居していない人と比べて、親と同居している人は「いずれは結婚したい」と回答する人が若干、多くなっている。

図7 : 親との同居と結婚への意志 (25-39歳の未婚者)

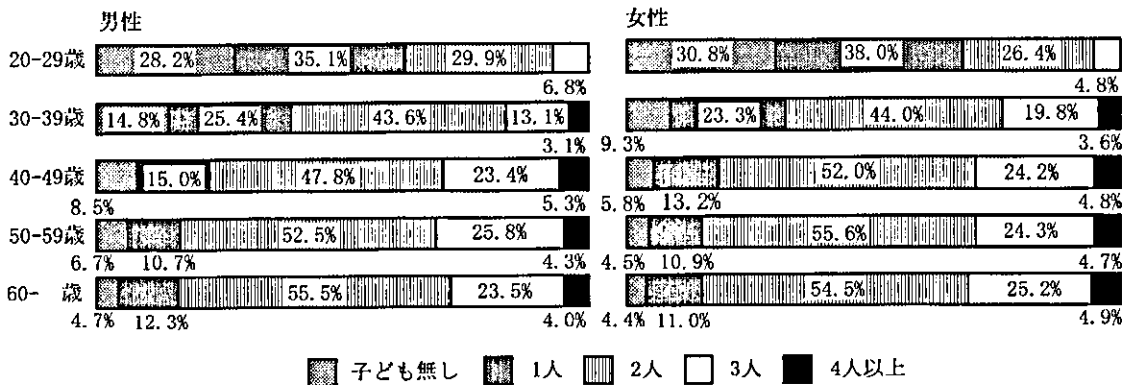


2. 「子どもについて」

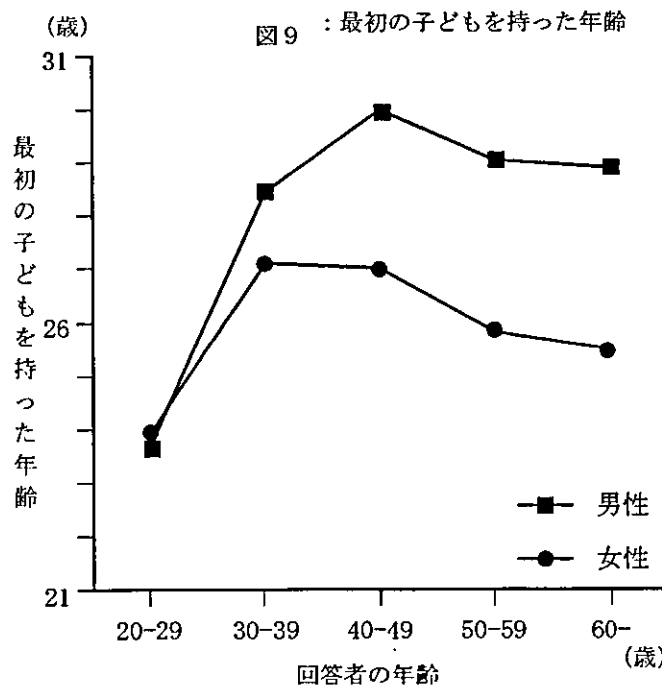
この調査では、回答者の方のお子さんについての設問がある。まず、結婚している男性

は平均 1.98 人、女性は平均 2.02 人の子どもを持っていた。子ども数の分布を年齢ごとにみると、20～30 歳代で子どものいない人、あるいは、子どもが一人しかいない人の割合が高く、子どもが三人の人の割合が低くなっている。これと比べて、50 歳～60 歳代では子どものいない人の割合が相対的に低く、約 8 割の人が 2～3 人の子どもをもっている(図 8)。

図 8 : 子どもの数の分布

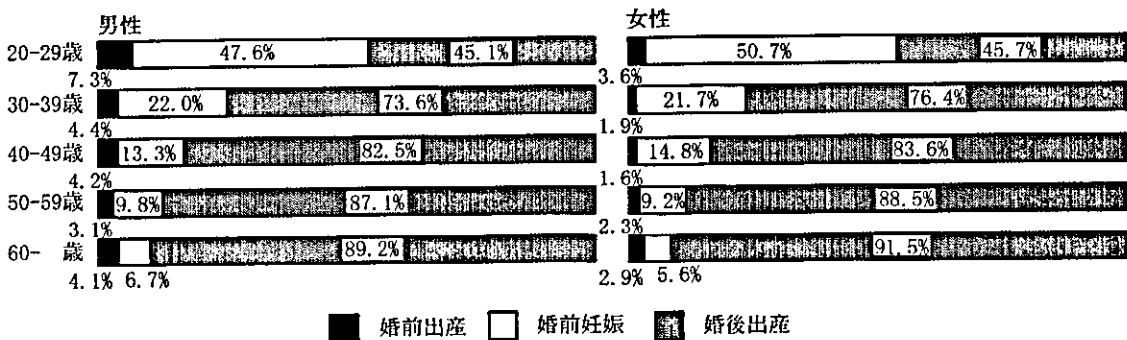


次に、最初のお子さんを持った年齢については、男性が平均 29.0 歳、女性が平均 26.2 歳でした。30 歳以上の人では、最初の子どもを持った年齢が女性で高くなる傾向がみられた。例えば、60 歳代の女性と比べると、30 歳代では 1.5 歳ほど出産年齢が高く、出産のタイミングが遅くなっている(図 9)。



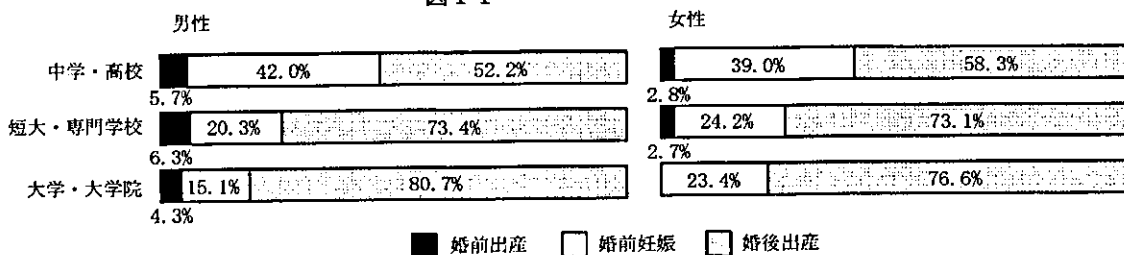
結婚と第一子出産との関係については、既婚者の8割強が「婚後妊娠（第一子の出生が結婚から8ヶ月以上）」、1割強が「婚前妊娠（第一子の出生が結婚から0～8ヶ月未満）」—いわゆる「できちゃった婚」—で、残りが「婚前出産（第一子の出生が結婚より前）」であった（図10）。特に、婚前妊娠は、男女とも若い年齢グループで増加傾向にあり、50歳以上では1割以下に過ぎませんが、30歳代では2割以上、20歳代では半数以上にも達していた。

図10 : 第一子出産のタイプ



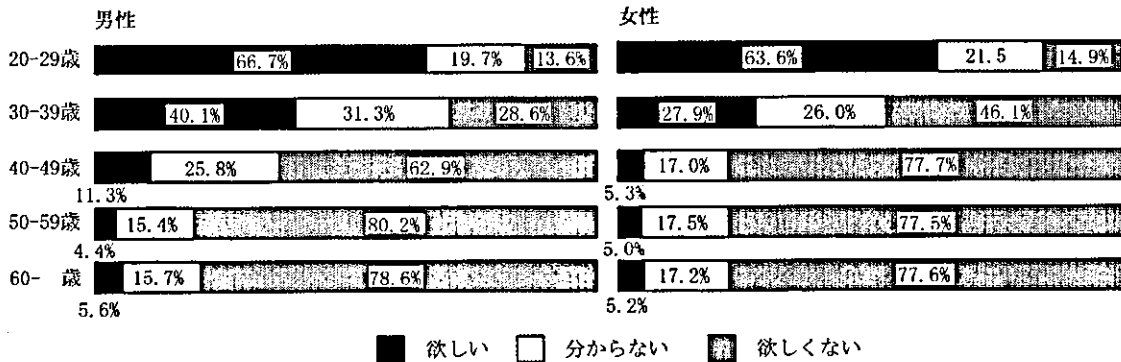
こうした出産パターンと学歴の関係を見ると、学歴の低い人ほど婚前出産や婚前妊娠をする傾向が見られる。例えば、婚前妊娠を経験した人の割合は中学・高校卒では男女共に4割前後になっているが、大学卒では男性で15.1%、女性で23.4%に過ぎない（図11）。

図11 : 第一子出産タイプと学歴（35歳未満の回答者）



既婚者の出生意欲についてみると、年齢が若くなるほど、「これから子どもが欲しいですか？」という質問に対して、「欲しい」と回答した人の比率は高くなっている（図12）。

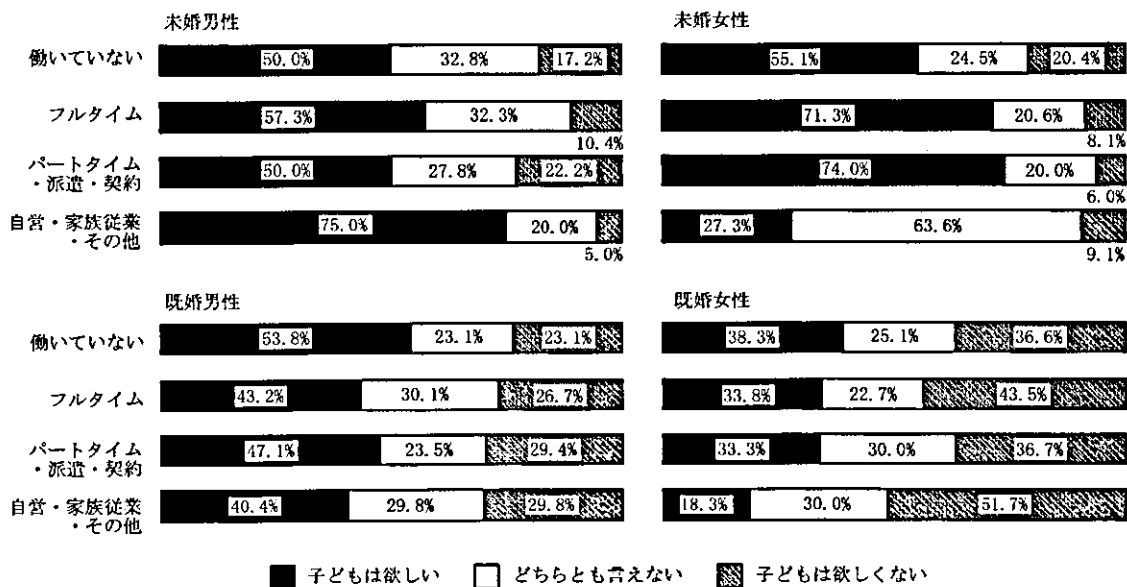
図12 : 既婚者の出生意欲



全体としては、「欲しい」人と「欲しくない」人の比率に男女で大きな差はみられないが、30歳代では「欲しくない」と答えた人が男性では28.7%であるのに対して、女性では46.1%にもなっており、女性の出生意欲が顕著に低くなっている。また、すべての年齢グループで20%前後の人が「分からない」と答えており、態度を決めかねている人も多い。

出生意欲と就業状態の関係をみると、未婚者と既婚者で違いがみられる(図13)。未婚者では「子どもは欲しい」と回答する人の割合が、男ではフルタイム就業者と自営業者で、女性ではフルタイムとパートタイムの就業者で高くなっている。反対に「子どもは欲しくない」と回答する人の割合は男性では非就業者やパートタイム就業者で高く、女性では非就業者で高く、安定した雇用状態の未婚者で出生意欲が強くなる傾向がみられる。

図13 : 就業状態と出生意欲 (25-39歳の回答者)



既婚者で「子どもは欲しくない」と回答した人は、男性ではパートタイム就業と自営業

で若干、高くなっているが、就業状態による差はあまり大きくない。しかし、女性ではフルタイム就業と自営業で、「子どもは欲しくない」と回答する人がかなり高く、反対にパートタイム就業や非就業の人では低くなっている。他方、「子どもは欲しい」と回答した人の割合は、男女ともに非就業者で最も高くなっている。

調査結果要旨

・「結婚・パートナー関係」

・全体で10%程度、20歳代、30歳代では6人に1人程度と同棲経験率となっている(図4)

・同棲を学歴別にみると低学歴ほど同棲率が高く、高学歴ほど低い(中高卒男子18.6%女子15.9%、大卒男子8.8%、女子7.6%、図5)。

・同棲経験者の8割がその同棲相手と結婚している(同棲は「結婚の予行演習」化している)。

・就業しているか否かで未婚者(25~39歳)の結婚への意思に差異がみられる(就業状態によって変わる結婚への意思、図6)。「出来るだけ早く」、「1~2年後」の合計が就業者では4割、非就業者2~3割。男子に限ればこの割合が、正規就業41.4%、パート等非正規就業33.5%と就業形態によっても若干の差がみられる。

・「子どもについて」

・20歳代の結婚と第一子の関係は男女とも婚前妊娠、婚前出産が半数を超え、30歳代でも25%を超える(図10)。

・出産パターンを学歴別にみると低学歴ほど婚前妊娠、婚前出産の割合が高く、高学歴ほど低い(中高卒男女とも両者の合計は4割を超す。これに対し大卒男子19.4%、女子23.4%、図11)。

・就業状態によっても、未婚者(25~39歳)の子どもを持つことへの意欲に差異がみられる(「子どもが欲しくない」が男子正規就業では10.4%、パート等では22.2%、非就業17.2%、女子では就業か否かで差異。「子どもが欲しい」がフル、パートとも7割を超えるのに対し非就業では55%に落ちる。「子どもは欲しくない」も非就業者は就業者の倍以上に達するーフルタイム8.1%、パート6.0%、非就業20.4%。図13)。

3. 「結婚と家族に関する国際比較調査」調査票（邦文）

結婚と家族に関する国際比較調査

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本アンケートへのご協力をお願いいたします。
この調査は、全国の18～69歳の方に、結婚や家族のことや生活状況について、皆様のお考えをおうかがいするものです。なにとぞ全ての質問にご回答くださいますよう、お願い申し上げます。

【ご記入に際してのお願い】

- 1) この調査は 様にご記入をお願いいたします。
- 2) お答えは、あてはまる番号を○で囲むか、 内に数字をご記入下さい。
- 3) ご記入は、質問の番号や矢印(→)の指示にそってお願いします。
- 4) ご記入は、鉛筆(黒)または、黒か青のボールペンかペンでお願いします。
- 5) 回答に迷う場合は、あなたのお気持ち・お考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてください。
- 6) なお、記入上お分かりにならない点などありましたら、来訪した調査員におたずねください。

____月 ____日 ____時頃に、調査員がいただきにあがりますので、それまでにご記入をお願いいたします。内容等についてご不明な点がありましたら、お手数ですが、下記、新情報センターまでお問い合わせ下さい。

【調査主体】 結婚と家族に関する国際比較研究会
代表者 慶応義塾大学教授 津谷 典子
〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45
慶応義塾大学 経済学部 津谷研究室
電話 03 (5453) 4511 (内線 23456)
電話 03 (5427) 1365 (ダイヤル)
ホームページ <http://www.mita.keio.ac.jp>

【お問い合わせ先・調査委託実施機関】 社団法人 新情報センター
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-13-6
恵比寿 ISビル 4F
電話 03 (3473) 8833 (担当: 溝淵、阪口)
ホームページ <http://www.sjc.or.jp>

4286号調査	地点番号				対象番号			調査員氏名	
---------	------	--	--	--	------	--	--	-------	--

人

問1 現在、あなたの世帯に同居している方は、自分をふくめて全部で何人ですか。

問2 現在、あなたの世帯に同居している方全員について、以下のa)~e)のそれぞれについて、あてはまるもの1つに○をつけるか、数字を記入してお答え下さい。あなた(1人目)から順にご記入下さい。

	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目	6人目
a) あなたからみた続柄	① あなたご自身	あなたの 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 孫 5 孫の配偶者 6 親 7 配偶者の親 8 祖父母 9 配偶者の祖父母 10 兄弟姉妹 11 その他	あなたの 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 孫 5 孫の配偶者 6 親 7 配偶者の親 8 祖父母 9 配偶者の祖父母 10 兄弟姉妹 11 その他	あなたの 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 孫 5 孫の配偶者 6 親 7 配偶者の親 8 祖父母 9 配偶者の祖父母 10 兄弟姉妹 11 その他	あなたの 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 孫 5 孫の配偶者 6 親 7 配偶者の親 8 祖父母 9 配偶者の祖父母 10 兄弟姉妹 11 その他	あなたの 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 孫 5 孫の配偶者 6 親 7 配偶者の親 8 祖父母 9 配偶者の祖父母 10 兄弟姉妹 11 その他
b) 性別	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女
c) 年齢	() 歳	() 歳	() 歳	() 歳	() 歳	() 歳
d) 配偶関係	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離別	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離別	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離別	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離別	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離別	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離別
e) 健康状態	1 とても健康 2 まあまあ健康 3 具合が良くない 4 介護・介助が必要	1 とても健康 2 まあまあ健康 3 具合が良くない 4 介護・介助が必要	1 とても健康 2 まあまあ健康 3 具合が良くない 4 介護・介助が必要	1 とても健康 2 まあまあ健康 3 具合が良くない 4 介護・介助が必要	1 とても健康 2 まあまあ健康 3 具合が良くない 4 介護・介助が必要	1 とても健康 2 まあまあ健康 3 具合が良くない 4 介護・介助が必要

	7人目	8人目	9人目	10人目	11人目	12人目
a) あなたからみた続柄	あなたの 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 孫 5 孫の配偶者 6 親 7 配偶者の親 8 祖父母 9 配偶者の祖父母 10 兄弟姉妹 11 その他	あなたの 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 孫 5 孫の配偶者 6 親 7 配偶者の親 8 祖父母 9 配偶者の祖父母 10 兄弟姉妹 11 その他	あなたの 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 孫 5 孫の配偶者 6 親 7 配偶者の親 8 祖父母 9 配偶者の祖父母 10 兄弟姉妹 11 その他	あなたの 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 孫 5 孫の配偶者 6 親 7 配偶者の親 8 祖父母 9 配偶者の祖父母 10 兄弟姉妹 11 その他	あなたの 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 孫 5 孫の配偶者 6 親 7 配偶者の親 8 祖父母 9 配偶者の祖父母 10 兄弟姉妹 11 その他	あなたの 1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 孫 5 孫の配偶者 6 親 7 配偶者の親 8 祖父母 9 配偶者の祖父母 10 兄弟姉妹 11 その他
b) 性別	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女	1 男 2 女
c) 年齢	()歳	()歳	()歳	()歳	()歳	()歳
d) 配偶関係	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離別	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離別	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離別	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離別	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離別	1 未婚 2 有配偶 3 死別 4 離別
e) 健康状態	1 とても健康 2 まあまあ健康 3 具合が良くない 4 介護・介助が必要	1 とても健康 2 まあまあ健康 3 具合が良くない 4 介護・介助が必要	1 とても健康 2 まあまあ健康 3 具合が良くない 4 介護・介助が必要	1 とても健康 2 まあまあ健康 3 具合が良くない 4 介護・介助が必要	1 とても健康 2 まあまあ健康 3 具合が良くない 4 介護・介助が必要	1 とても健康 2 まあまあ健康 3 具合が良くない 4 介護・介助が必要

問3 あなたのお住まいは次のどれにあてはまりますか。あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

- 1 一戸建ての持ち家 (ローンなし)
- 2 一戸建ての持ち家 (ローン返済中)
- 3 賃貸の一戸建て
- 4 分譲マンション (ローンなし)
- 5 分譲マンション (ローン返済中)
- 6 賃貸マンション・賃貸アパート
- 7 社宅・官舎など雇い主から供給されている住宅
- 8 その他 ()

問4 あなたのお住まいは、トイレ・風呂場をのぞいて、住居室(寝室、居間、客間、書斎、ダイニング・キッチンなど)が何室ありますか。

部屋

問5 今のお住まいに住みはじめて何年くらいになりますか。 年

問6 あなたは、これから子どもが(もうひとり)ほしいですか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけて下さい。ほしい方は、次の a)～b) にもお答え下さい。結婚している方も、していない方も、**全員お答え下さい。**

1 ぜひほしい →

2 ほしい

3 どちらともいえない

4 あまりほしくない

5 絶対ほしくない

a) すでにいる子どもを含めて、全部で何人子どもがほしいですか

人

↓

b) いつ次の(最初の)子どもがほしいですか

- 1 今すぐ
- 2 今から3年以内に
- 3 今から3～4年後に
- 4 今から5年以上たってから
- 5 現在、妊娠している
- 6 いつとはいえない

問7 以下のa)～f)について、あてはまるもの1つに○をつけるか、数字を記入してお答え下さい。
 現在、配偶者(夫または妻)のいらっしゃる方は、あなたとあなたの配偶者の両方についてお答え下さい。また独身の(配偶者のいない)方は、左側の「あなた」の欄だけお答え下さい。

	あなた	配偶者
a) 出生年月	昭和・西暦 _____年 _____月	明治・大正・昭和・西暦 _____年 _____月
b) 最後に行った(または在学中の)学校はどれにあたりますか	1 新制中学校、旧制小学校・国民学校・青年学校 2 新制高校、旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校 3 各種専門学校(高校卒業後) 4 新制短大・高専、旧制高校・専門学校・高等師範学校 5 新制・旧制大学(4年制)以上 6 その他()	1 新制中学校、旧制小学校・国民学校・青年学校 2 新制高校、旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校 3 各種専門学校(高校卒業後) 4 新制短大・高専、旧制高校・専門学校・高等師範学校 5 新制・旧制大学(4年制)以上 6 その他()
c) その学校を卒業しましたか	1 現在、在学中 2 卒業した 3 中退した	1 現在、在学中 2 卒業した 3 中退した
d) 15歳になるまでの間、最も長く暮らした地域はどこにあたりますか	1 農村・山村・漁村 2 地方小都市 3 県庁所在地・それと同等以上の大都市	1 農村・山村・漁村 2 地方小都市 3 県庁所在地・それと同等以上の大都市
e) 生存している兄弟姉妹の数 【いない場合は○を記入】	兄 ()人 姉 ()人 弟 ()人 妹 ()人	兄 ()人 姉 ()人 弟 ()人 妹 ()人
f) 昨年の税込み年収の総額(年金や退職金を含みます)	1 ゼロ(収入なし) 2 1～100万円未満 3 100～199万円 4 200～299万円 5 300～399万円 6 400～499万円 7 500～599万円 8 600～699万円 9 700～799万円 10 800～999万円 11 1,000～1,299万円 12 1,300～1,499万円 13 1,500万円以上	1 ゼロ(収入なし) 2 1～100万円未満 3 100～199万円 4 200～299万円 5 300～399万円 6 400～499万円 7 500～599万円 8 600～699万円 9 700～799万円 10 800～999万円 11 1,000～1,299万円 12 1,300～1,499万円 13 1,500万円以上

問8 あなたのご家庭では、以下の a)～d) の家庭内の仕事を、通常だれが、どのくらいしますか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけて下さい。配偶者(夫・妻)、親・祖父母、子どもや孫と同居していない方は、同居している方の欄についてのみお答え下さい。

	あなた	配偶者	親や祖父母	子どもや孫
a) 料理や食後の後片付け	1 ほぼ毎日 2 週に3～4回 3 週に1～2回 4 月に1～3回 5 ほとんどしない	1 ほぼ毎日 2 週に3～4回 3 週に1～2回 4 月に1～3回 5 ほとんどしない	1 ほぼ毎日 2 週に3～4回 3 週に1～2回 4 月に1～3回 5 ほとんどしない	1 ほぼ毎日 2 週に3～4回 3 週に1～2回 4 月に1～3回 5 ほとんどしない
b) 洗濯	1 ほぼ毎日 2 週に3～4回 3 週に1～2回 4 月に1～3回 5 ほとんどしない	1 ほぼ毎日 2 週に3～4回 3 週に1～2回 4 月に1～3回 5 ほとんどしない	1 ほぼ毎日 2 週に3～4回 3 週に1～2回 4 月に1～3回 5 ほとんどしない	1 ほぼ毎日 2 週に3～4回 3 週に1～2回 4 月に1～3回 5 ほとんどしない
c) 部屋の掃除	1 ほぼ毎日 2 週に3～4回 3 週に1～2回 4 月に1～3回 5 ほとんどしない	1 ほぼ毎日 2 週に3～4回 3 週に1～2回 4 月に1～3回 5 ほとんどしない	1 ほぼ毎日 2 週に3～4回 3 週に1～2回 4 月に1～3回 5 ほとんどしない	1 ほぼ毎日 2 週に3～4回 3 週に1～2回 4 月に1～3回 5 ほとんどしない
d) 食料品・日用品の買物	1 ほぼ毎日 2 週に3～4回 3 週に1～2回 4 月に1～3回 5 ほとんどしない	1 ほぼ毎日 2 週に3～4回 3 週に1～2回 4 月に1～3回 5 ほとんどしない	1 ほぼ毎日 2 週に3～4回 3 週に1～2回 4 月に1～3回 5 ほとんどしない	1 ほぼ毎日 2 週に3～4回 3 週に1～2回 4 月に1～3回 5 ほとんどしない

問9 あなたは、以下の a)～e) のサービスを、どれくらいひんぱんに利用しますか。a)～e) のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

	(1) 1回もない	(2) 月1回未満	(3) 月1～3回位	(4) 週1回位	(5) 週2～3回位	(6) ほぼ毎日
a) 総菜や弁当をコンビニやスーパーで買う	1	2	3	4	5	6
b) 夕食に外食をする	1	2	3	4	5	6
c) 夕食に出前や仕出しをとる	1	2	3	4	5	6
d) 家のお掃除サービスをたのむ	1	2	3	4	5	6
e) ホーム・ヘルパーに身の世話をたのむ	1	2	3	4	5	6

問 10 次の a) ~ f) は、現在のあなたの状況に、どの程度あてはまりますか。もっともよく当てはまる番号を1つずつ選んで、○をつけて下さい。

	(1) 当てはまる	(2) 当てはまらない	(3) どちらとも言えない
a) 困った時に頼れる人がたくさんいる	1	2	3
b) 何をするのもむなし	1	2	3
c) ひとりぼっちで寂しい	1	2	3
d) 心から信頼できる人がたくさんいる	1	2	3
e) 他人から拒絶された気持ちによくなる	1	2	3
f) 親しいと思える人がいる	1	2	3

問 11 あなたは、次にあげる a) ~ f) の意見についてどのようにお考えですか。それぞれについて、あなたのお考えに最もよく当てはまる番号に1つずつ○をつけて下さい。

	(1) 賛成	(2) どちらかといえ ば賛成	(3) どちらとも いえ	(4) どちらかといえ ば反対	(5) 反対
a) 親のめんどうをみるのは、長男の義務である	1	2	3	4	5
b) 結婚の主な目的は、子どもをもつことである	1	2	3	4	5
c) 結婚せずに、男女がいっしょに暮らしてもよい	1	2	3	4	5
d) 子どもがいても、不幸せな結婚なら離婚してもよい	1	2	3	4	5
e) 男は結婚しなくても、充実した人生をおくることができる	1	2	3	4	5
f) 夫婦ともにフルタイムで働いているなら、家事は平等にやるべきだ	1	2	3	4	5
g) 男は子どもがいなくても、充実した人生をおくることができる	1	2	3	4	5
h) 母親が勤めると、就学前の子どもによく影響をあたえることが多い	1	2	3	4	5
i) 女は結婚しなくても、充実した人生をおくることができる	1	2	3	4	5
j) 男が家族を養い、女は家庭をまもるのが、みんなにとってよい	1	2	3	4	5

	(1) 賛成	(2) どちらかといえ ば賛成	(3) どちらとも いえない	(4) どちらかといえ ば反対	(5) 反対
k) 女は子どもがいなくても、充実した人生をおくることができる	1	2	3	4	5
l) 父親が仕事ばかりしているのは、子どもにとってよくない	1	2	3	4	5
m) 働き口が少ない時、女よりも男が就職の優先権をもつべきだ	1	2	3	4	5
n) 親が世話を必要とする時、息子よりも娘がめんどろをみるべきだ	1	2	3	4	5
o) 成人した子どもが経済的に困っている時、親は援助すべきだ	1	2	3	4	5
p) 親が経済的に困っている時、成人した子どもは親を助けるべきだ	1	2	3	4	5
q) 独身の女性は、異性と性交渉をもってもかまわない	1	2	3	4	5
r) 一般的に言って、人は信用できる	1	2	3	4	5

問 12 以下の a)～g) について、あなたに(もう1人)子どもがいると仮定すると、あなたの生活は現在と比べて、どう変わると思いますか。あてはまる番号を1つずつ選んで○をつけて下さい。

	(1) ずっと良くなる	(2) 少し良くなる	(3) 変わらない	(4) 少し悪くなる	(5) ずっと悪くなる
a) 生活水準	1	2	3	4	5
b) やりたいことをやる自由	1	2	3	4	5
c) 就職や昇進の機会	1	2	3	4	5
d) 性生活	1	2	3	4	5
e) 自分に対するまわりの見方	1	2	3	4	5
f) 心のやすらぎ	1	2	3	4	5
g) 生活全般の満足度	1	2	3	4	5

問 13 あなたは、過去1年間に次の a)～d) について、誰かに相談したことはありますか。それぞれについて、あてはまるもの1つに○をして下さい。さらに、「1 ある」と答えた場合には、主にだれに相談したのかについても、あてはまるものを2つまで選んで、○をつけて下さい。

	相談の有無	主な相談相手 (2つまで)		
a) 仕事・職場について	1 ある → 2 ない	1 配偶者 4 配偶者の母親 7 娘・息子 10 その他	2 あなたの母親 5 配偶者の父親 8 友人・知人	3 あなたの父親 6 兄弟姉妹 9 専門家・カウンセラー
b) 恋愛・結婚・夫婦関係について	1 ある → 2 ない	1 配偶者 4 配偶者の母親 7 娘・息子 10 その他	2 あなたの母親 5 配偶者の父親 8 友人・知人	3 あなたの父親 6 兄弟姉妹 9 専門家・カウンセラー
c) 親との関係について	1 ある → 2 ない	1 配偶者 4 配偶者の母親 7 娘・息子 10 その他	2 あなたの母親 5 配偶者の父親 8 友人・知人	3 あなたの父親 6 兄弟姉妹 9 専門家・カウンセラー
d) 子どもの教育・子育てについて	1 ある → 2 ない	1 配偶者 4 配偶者の母親 7 娘・息子 10 その他	2 あなたの母親 5 配偶者の父親 8 友人・知人	3 あなたの父親 6 兄弟姉妹 9 専門家・カウンセラー

問 14 この1年間に、あなたや配偶者の方と家族・親戚との間に金銭的なやりとりはありましたか。もしあれば、その総額はいくらくらいでしたか。a)～b)はあてはまるもの1つに、c)はあてはまるもの全てに○をつけて下さい。

	あなたや配偶者から家族・親戚へ	家族・親戚からあなたや配偶者へ
a) 金銭的やりとりの有無	1 なかった 2 あった	1 なかった 2 あった
次の b)～c)は、金銭的やりとりがあった方だけがお答え下さい		
b) 金銭的やりとりの総額	1 3万円未満 2 3万円～6万円未満 3 6万円～12万円未満 4 12万円～24万円未満 5 24万円～36万円未満 6 36万円～60万円未満 7 60万円～120万円未満 8 120万円以上	1 3万円未満 2 3万円～6万円未満 3 6万円～12万円未満 4 12万円～24万円未満 5 24万円～36万円未満 6 36万円～60万円未満 7 60万円～120万円未満 8 120万円以上
c) だれとのやりとりですか。(該当するもの全てに○)	1 あなたの親 2 配偶者の親 3 あなたの子ども 4 あなたの孫 5 その他 ()	1 あなたの親 2 配偶者の親 3 あなたの子ども 4 あなたの孫 5 その他 ()